

教育概要

各学期の授業終了時に、その学修状況を確認するために成績評価が行われます。なお、成績評価は、出席状況、ノート、レポート及び各種試験等により、総合的に評価されますが、平素の成績を原則としますので、必ず、毎回の授業に出席のうえ、授業内容を確実に理解することに努めなければなりません。

(1) 受講手続き

各学期の授業開始後、指定する期日までに履修しようとする授業科目を選択し、受講手続きをとらなければなりません。この手続きを怠ると授業への出席にかかわらず、成績評価を受けることができません。

また、本学部では、過度の履修を防ぐこと及び受講した科目の理解度を高めるために1年間で履修できる単位数の上限を次のとおり設定しています。但し、教職に関する科目は、この制限に含まれません。

年次	2年次	3年次
単位数	44	44

(2) 授業への出席

授業への出席は、授業内容をよく理解するためにも極めて重要です。勉学の基本は、日々の積み重ねにあり、「学ぶ」うえでも、授業へ積極的に出席する意欲が必要です。

また、授業は、すべて連続性及び関連性を持ち、段階を踏んで展開されるため、欠席するごとに授業の内容が理解できなくなり、更には勉学意欲の低下につながる恐れがありますので注意してください。

成績評価を受けるためには、授業回数の3分の2以上出席しなければ、原則として成績評価の対象となりません。その結果、単位が未修得となり、留年又は卒業できなくなる可能性が高くなります。

(3) 試験

試験は、授業に対する学習成果及び理解度の確認並びに不明な点を理解するために行われます。なお、試験には次のようなものがあります。

① 達成度確認試験

各学期末に実施する試験です。詳細な実施日時及び実施方法等については、授業中に説明します。授業回数の3分の2以上出席しなければ、受験できない場合があります。

② 追試験

病気、事故、忌引等の事由により達成度確認試験を受験できなかった学生を対象とする試験です。追試験受験希望者は、授業担当者にその旨を申し出たうえで、追試験願及び試験欠席の理由を証明する書類等を所定の期日までに提出することになります。

③ 確認試験

授業担当者が授業の理解度を確認する目的として、必要に応じて授業中に実施する試験です。授業担当者によって、毎回の授業開始時（又は終了時）に繰り返し実施する場合や、授業の進捗を確認のうえ、適宜実施する場合があります。

(4) 成績評価

各科目の成績は、100点満点で次のような評価で表示されます。60点以上を合格とし、合格科目には単位が認定されます。ただし、追試験は80点、再評価試験は69点を最高点とします。

判定	成績評価	成績評価基準	
合格	S(秀)	90点 ~ 100点	特に優れた成績を収めたことを表わします。
	A(優)	80点 ~ 89点	優れた成績を収めたことを表わします。
	B(良)	70点 ~ 79点	合格と認められる十分な成績を収めたことを表わします。
	C(可)	60点 ~ 69点	合格と認められる最低限の成績を収めたことを表わします。
不合格	F(不可)	59点以下	合格と認められる最低限の成績を収めることができなかったことを表わします。
対象外	TC(認定)	・他大学等での履修により修得した単位 ・留学により修得した単位 ・資格取得等により認定された単位	修得単位として認定された成績であることを表わします。

(5) GPA制度

本学部では、成績評価に基づく学業結果を総合的に確認するうえ、今後の教育に資する目的としてGPA制度を導入しています。

GPA (Grade Point Average) は、学生一人ひとりが、学修意欲とその成果を総合的、かつ、客観的に確認できる指針となり、その後の勉学意欲向上にむけた目標となります。

GPAの計算方法は、各履修科目の成績評価 (S・A・B・C・F) をそれぞれ数値化し、その数値化した評点に単位数を乗じた総評点を登録科目の総単位数で割って算出します。

なお、GPAは進級基準にも適用されており、GPAが一定の基準に満たない学生は進級できません。

■ 成績評価とグレードポイント

成績評価	ポイント
S (秀)	4
A (優)	3
B (良)	2
C (可)	1
F (不可)	0

※ 「TC (他大学での履修により修得した単位等)」については、評価の対象とはなりません。

■ GPAの算出方法

$$GPA = \frac{(Sの単位数 \times 4) + (Aの単位数 \times 3) + (Bの単位数 \times 2) + (Cの単位数 \times 1) + (Fの単位数 \times 0)}{\text{履修科目の総単位数}}$$

例)	履修科目	単位数	評価	ポイント
	グローバル時代の人間	2単位	S	4
	21世紀の人間力	2単位	A	3
	アメリカの文化	2単位	B	2
	金沢の文化	2単位	C	1
	芸術学	2単位	F	0

※ 上記の計算式にあてはめると、GPA=20ポイント÷10単位=2となります。F (不可) の科目も含まれますので、履修した科目は、合格するよう努力する必要があります。

(6) 成績のお知らせ

- ① 前期単位認定科目…最終的な成績通知は8月下旬に送付します。
- ② 後期単位認定科目…最終的な成績通知は3月下旬に送付します。

進級と留年

両学科とも各年次終了時の進級基準（当該年次において到達すべき最低の基準）は次のとおりとなります。

	進級基準
1年次終了時	修得単位数20単位以上又は当該年度GPA1.0以上
2年次終了時	修得単位数60単位以上又は当該年度GPA1.0以上
3年次終了時	当該年度GPA1.0以上

卒業

卒業するためには、各年次を経て4年以上（最長8年まで）在学し、定められた科目を履修のうえ、次のとおり128単位以上修得する必要があります。なお、卒業時に、国際マネジメント学科は学士（マネジメント）、国際教養学科は学士（文学）の学位が授与されます。

未 来 創 造 学 部			
国際教養学科		国際マネジメント学科	
外国語科目	(※28単位まで語学専修科目群に含めることができる。)	外国語科目	英 語 28単位 中国語 22単位 日本語 28単位
基礎教育科目群	健康科目 4単位以上 未来創造科目 4単位 演習科目 16単位 合計 24単位以上	基礎教育科目群	健康科目 4単位以上 演習科目 16単位 未来創造科目 4単位 情報科目 2単位 合計 26単位以上
語学専修科目群	専修英語科目又は専修中国語科目から50単位以上（ただし、28単位までは外国語科目で替えることができる。)		
国際教養科目群	40単位以上	国際マネジメント科目群	必修 10単位 選択 50単位以上 合計 60単位以上
国際マネジメント科目群	14単位以上	国際教養科目群	14単位以上
合計	128単位以上	合計	128単位以上

備考1. 国際マネジメント学科外国語科目中国語履修生は中国語の他、「中国の文化」、「中国の文学と文学史」、「中国研究Ⅰ」、「中国研究Ⅱ」、「中国現代史Ⅰ」及び「中国現代史Ⅱ」から6単位必修

備考2. 留学生の外国語科目の履修については未来創造学部履修規程に定める。